

■～X線について～

胸部のX線写真を撮りましょうと言われ、胎児に影響がないか不安になるお母さんがいらっしゃると思います。私達は、常に自然放射線(宇宙から飛んでくる)を受けています。その量は年間で胸のX線検査を一回受けた時とほぼ同じです(ほとんど問題にならないくらい微量です)。またX線発生装置は、胸部の調べたい部分にだけX線が当たる仕組みになっており、他の部分には当たりません。さらに妊婦さんの腹部には、X線を通さないプロテクターを装着しますので、胎児が奇形を起こすことはありません。安心して胸部のX線検査を受けて下さい。



担当:放射線科 荒木 栄